



コロナにより加速化された新しい学び

校長 野口博史

早いもので、先日、2学期の期末試験を実施しました。臨時休校から始まった今年度は、夏季休業の短縮や各種行事の規模縮小など、子どもたちにとっては戸惑いの多い日々であったことと思います。それでも、何とか授業時間数の確保も目途が立ち、授業の進度もほぼ例年通りにまで追いつくことができたのは、子どもたちの日々の努力、また、保護者の皆様のご協力のおかげであるといえるでしょう。

さて、今回の3年生保健体育の試験に、次のような出題がありました。これは、新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府に提言された内容に関するものです。普段の生活の中

() に当てはまる語句や数字を答えなさい。

【感染リスクが高まる5つの場面】

- 場面1 飲酒を伴う懇親会等
- 場面2 大人数、例えば()人以上や長時間の会食
- 場面3 ()なしでの会話
- 場面4 狭い空間での()
- 場面5 居場所の切り替わり

で感染のリスクを下げることはできても、リスクをゼロにすることはできません。「第3波の到来」と言われ、感染拡大が危惧される現在の状況においては、一人一人が「自分で考え、判断する」ことが求められます。マスク着用や手洗いの徹底などは、手に付着したウイルスが口や目に入ることを防ぐのが目的です。そのことを子どもたちが理解し、自分で必要性を考える。また、免疫力を高めるためには日頃からどのように生活をするのが良いか、自分で判断する。こうした力を身につけることが大切なのではないのでしょうか。

一方、新型コロナの影響で計画が急速に進んだこともあります。Society 5.0時代に生きる子どもたちの学びを保障するため、2019年から5年をかけて日本の全ての小中学生に1人1台のPCやクラウド活用を前提とした高速ネットワーク環境などを整備する「GIGAスクール構想」が打ち出されました。新型コロナの影響で「GIGAスクール構想」の達成時期は、当初の2023年度から2020年度中に前倒しされることになりました。本校においても1月には一人一台のタブレットパソコンが導入される予定となっています。令和の時代を生きる子どもたちにとって、1人1台の端末環境は、鉛筆やノートと並ぶマストアイテムとなり、学校の「スタンダード」として特別なことではなくなります。

今回のコロナにより加速化された、多様な子どもたちの創造性を育む教育を実現する構想は、新しい学びを生み出す重要なきっかけとなることは間違いありません。感染症対策の徹底とともに、学校における取組を進めてまいります。

Culture Week(11/30~12/4)

文化祭の代替行事として、文化部の作品や、委員会、各学年等の作品を展示します。

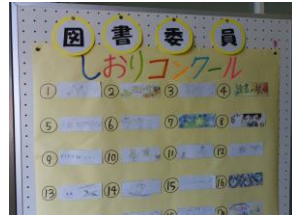
<家政部>

<科学部>



<美術部>

<図書委員会>



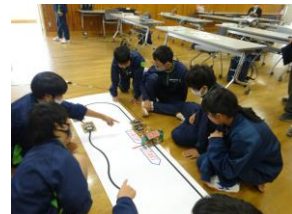
2年生トライやるデー(11/17)

地域の1次避難所清掃、危険箇所点検、防災マップ作製などを行いました。



1年生ものづくり体験(11/17)

8つのコースに分かれて、匠に指導していただきました。



薬物乱用防止教室(11/27)

薬の正しい使用法、違法薬物の危険性などについて学習しました。



12月学校行事予定表

日	曜	学校行事	PTAその他	給食
1	火	生徒会専門委員会		○
2	水	◎職員定時退勤日		○
3	木	職員研修(道徳)※45分授業		○
4	金	スクールフェスティバル(午後) ※午前中45分授業		○
5	土			
6	日	市民人権の集い		
7	月	全校朝会(放送) 三木特別支援学校交流(1年)		○
8	火	書写講習会(2)2-4、1-2		○
9	水	学校運営委員会 ◎職員定時退勤日	PTA実行委員会20:00	○
10	木	書写講習会(3)1-3、1-1		○
11	金	生徒会選挙		○
12	土			
13	日			
14	月	三者懇談 12/18まで ※45分授業		○
15	火			○
16	水	◎職員定時退勤日		○
17	木			○
18	金			○
19	土			
20	日			
21	月			○
22	火	緑中校区小中連携幹事会		○
23	水	職員会議 ◎職員定時退勤日		○
24	木			○
25	金	2学期終業式		×
26	土	※冬季休業 1/5まで		
27	日			
28	月			
29	火			
30	水			
31	木			